

請願第 1 号



パワハラ相談窓口外部化の早期実現ならびに拡充に関する請願

紹介議員の氏名 待島 美光

【件名】 パワハラ相談窓口外部化の早期実現ならびに拡充に関する請願

【要旨】 市役所パワハラ委員会の外部化の早期実現、ならびに同委員会を職員間ハラスメントだけでなく、民間事業者に対するハラスメントも対象とした拡充を図ることを請願する。

【理由】 和光市元職員による不祥事事件が明らかになって、当該職員による職員間ハラスメントは広く知られるものとなった。しかし職員間ハラスメントのみならず、当該職員は関係する民間事業者に対してもハラスメントを行ってきた。職員間であれば市役所パワハラ委員会に訴えることは可能であった。しかし民間事業者は訴える先はなく、また発注元である市役所職員に対して極めて弱い立場にあり、泣き寝入りするしかすべはなかった。

柴崎光子市長は「職員間ハラスメント防止対策強化を行うため『公益通報・ハラスメントの相談窓口の外部化』」を公約としており、職員間ハラスメントについては大きく前進することが期待される。さらに職員間のみならず、民間事業者に対してのハラスメント対策としてその外部化した相談窓口で対応して頂きたい。

本来、市と民間事業者とはパートナーとして協働して様々な事業を推進すべきものである。しかし現状では民間事業者は委縮し、自由闊達に意見を述べることはできず、市の発展を阻害している。市のさらなる発展を図るためには、職員間そして民間事業者に対するハラスメントを廃し、ともに同じ目標に向かって邁進することが必要である。

そのために市長公約のハラスメント相談窓口の外部化早期実現とともに、同窓口で民間事業者も対象として拡充するよう請願する。

令和 3 年 8 月 18 日

和光市議会議長 齊藤 克己 様

請願代表者

住 所 和光市新倉 3-6-38

氏 名 天野教之

㊟

(ほか 493 名)